

指定校番号	31015	学級活動	○	児童会活動	学校行事	別紙様式2
-------	-------	------	---	-------	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立久保小学校	校長	村上 みどり	生徒指導主事	内田 哲雄
-----	-----------	----	--------	--------	-------

取組事例名		『あいさつ週間』					
取組における育てたい資質・能力							
人間関係形成		社会参画		自己実現			
共感的な人間関係の形成	1	協調性	3	自己肯定感の育成	2		
取組のねらい							
全児童が相手意識を持って学校生活を送ることができるようになるために、協力して諸問題を解決しようとする共感的な人間関係を育成する。							
取組の具体的内容			取組の創意工夫 『意識付け』				
<p>あいさつ週間</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週月・金曜日（7時45分～8時）、児童会役員（6年3名、5年2名）が校門に立ち、あいさつ運動を行っている。 毎月第2週にあいさつ週間を行う。帰りの会で、友達にあいさつができたか児童に挙手させて人数を確認する。  <p>児童玄関の掲示版</p>			<ul style="list-style-type: none"> 健康観察時に、ソーシャルスキルトレーニングを行うことで、あいさつすることの気持ちよさを味わうとともに、友達と関わることのよこびを実感できるようにする。 (体験による意識付け) 児童玄関の掲示版にある集計結果を確認することで、あいさつすることに関心を持つことができるようにする。 (視覚的な意識付け) 				
取組の成果と課題							
成果							
<ul style="list-style-type: none"> 教室内での友達同士のあいさつが見られるようになってきた。 登下校時、自分からあいさつする児童が増えてきた。 地域の方から、「あいさつをする小学生が増えた。」という言葉をいただいた。 あいさつを通して、友達と関わることにより、友達同士のトラブルが少なくなってきた。 							
あいさつをした児童集計結果（あいさつ週間）							
月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月
全体平均 (%)	96.6	97.1	96.1	98.3	95.5	94.4	94.9
課題							
<ul style="list-style-type: none"> 「誰にでもあいさつができる」というところまでには至っていない。 「立ち止まって」「相手の目を見て」「相手に伝わる声で」ができる児童が増えていくような取組を考えていく必要がある。 							